

【奈義町教育委員会】

校務DX計画

奈義町では、GIGAスクール構想に基づき、令和2年度からICT環境の整備を進めてきた。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められている。これらの課題を解決するため、本町では教職員の働き方改革の一環として、校務デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた次の具体的な取り組みを進めることとする。

1 校務DX推進体制の構築

- ・教職員のICT活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するために、外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。
- ・生成AIの活用について情報提供及び研修を実施する。

2 校務支援システムのクラウド化

- ・次世代校務支援システムの導入完了（令和11年度まで）に向け、令和8年度までに統合型（クラウド版）校務支援システム導入の検討を進めることにより、データ連携による業務効率化の実現を目指す。

3 クラウドツールの活用推進

- ・クラウドサービスで職員会議資料を共有し、ペーパーレス化と事前情報共有による会議の質向上を図る。
- ・研修をオンラインやオンデマンド視聴で実施し、時間や場所の制約を受けない参加と効率化を実現する。
- ・電子署名・認証システムの導入を検討し、FAXや押印に頼らない業務体制を構築していく。
- ・校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業をなくすため、町教委から学校にデータを提供し、合理化を図る。